

3部

10月
科目修了試験の
ご案内

1 10月科目修了試験の実施日時・会場

平成26年度第5回科目修了試験を下記日時・会場で実施いたします。会場の地図は『試験・スクーリング 情報ブック2014』p.198～212をご覧ください。

※申込者が多数になった会場では、1～2科目受験の方に、受験開始時間や会場の変更のご協力をお願いする場合があります。

2014年10月25日(土) 13:30集合 13:45開始

旭川・八戸・秋田・山形・郡山・川口(注1)・横浜・長岡・
名古屋・福岡

2014年10月26日(日) 9:45集合 10:00開始

札幌・盛岡・水戸・新潟・大阪

2014年10月26日(日) 13:30集合 13:45開始

帯広・東京(注2)・静岡・富山

2014年10月26日(日) 16:15集合 16:30開始

仙台

(注1)『試験・スクーリング 情報ブック2014』より追加実施。

(注2)10/26東京会場の混雑が予想されるため、可能でしたら10/25川口会場や横浜会場での受験にご協力お願いいたします。

●実施会場一覧

都市名	実施日	会場名	地図
仙台	10/26 16:15	東北福祉大学ステーションキャンパス館 3階S300教室	情報ブック p.198
札幌	10/26 9:45	かでの2・7 7階710会議室	情報ブック p.199

都市名	実施日	会場名	地図
帯広	10/26 13:30	とかちプラザ 3階研修室306	情報ブック p. 200
旭川	10/25 13:30	旭川市ときわ市民ホール 4階多目的ホール1・2	情報ブック p. 200
八戸	10/25 13:30	ユートリー 4階研修室	情報ブック p. 201
盛岡	10/26 9:45	アイーナ 8階研修室812	情報ブック p. 202
秋田	10/25 13:30	秋田県生涯学習センター 5階第3研修室	情報ブック p. 203
山形	10/25 13:30	山形医療技術専門学校 4階レクリエーション室	情報ブック p. 204
郡山	10/25 13:30	郡山女子大学 創学館 5階531教室	情報ブック p. 205
水戸	10/26 9:45	茨城県立青少年会館 2階中研修室1	情報ブック p. 207
川口 (注1)	10/25 13:30	川口リリア 11階大会議室	情報ブック p. 207
東京 (注2)	10/26 13:30	東北福祉大学 東京サテライト(四ツ谷) ※申込者多数の場合、主婦会館 プラザ エフも使用(受験許可証にて提示)。	情報ブック p. 208 本冊子 p. 25
横浜	10/25 13:30	横浜市教育会館 2階第1会議室	情報ブック p. 209
新潟	10/26 9:45	新潟医療福祉カレッジ 2号館	情報ブック p. 209
長岡	10/25 13:30	長岡こども福祉カレッジ 1号館	情報ブック p. 209
富山	10/26 13:30	富山県民小劇場ORBIS 6階会議室	情報ブック p. 210
静岡	10/26 13:30	静岡商工会議所 静岡事務所会館 4階401・402号室	本冊子 p. 25

■次ページに続く■

都市名	実施日	会場名	地図
名古屋	10/25 13:30	愛知学院大学 楠元学舎短期大学部 図書館棟 3階第5講義室	情報ブック p. 211
大阪	10/26 9:45	関西大学 千里山キャンパス 第2学舎2号館3階C303教室 ※天六キャンパスではありません。ご注意ください。	本冊子 p. 26
福岡	10/25 13:30	ももちパレス 3階視聴覚教室	情報ブック p. 212

10/25(土) 実施会場時間割

13:30集合

13:45~14:30	1 科目め
14:30~15:15	2 科目め
15:15~16:00	3 科目め
16:00~16:45	4 科目め

10/26(日) 札幌・盛岡・水戸・ 新潟・大阪会場時間割

9:45集合

10:00~10:45	1 科目め
10:45~11:30	2 科目め
11:30~12:15	3 科目め
12:15~13:00	4 科目め

10/26(日) 帯広・東京・静岡・富山 会場時間割

13:30集合

13:45~14:30	1 科目め
14:30~15:15	2 科目め
15:15~16:00	3 科目め
16:00~16:45	4 科目め

10/26(日) 仙台会場時間割

16:15集合

16:30~17:15	1 科目め
17:15~18:00	2 科目め
18:00~18:45	3 科目め
18:45~19:30	4 科目め

※下記の東京会場（主婦会館 プラザエフ）は、予備会場です。東京科目
修了試験申込者は、受験許可証に書かれた会場が「東京サテライト（四
ッ谷）」か「主婦会館 プラザエフ」かのご確認をお願いいたします。

東京会場 主婦会館 プラザエフ

住 所 〒102-0085

千代田区六番町15

電 話 03-3265-8111

交通アクセス JR四ッ谷駅 麹町

口前 徒歩1分

東京メトロ南北線／丸ノ内線

四ッ谷駅 徒歩3分

駐車場 あり（詳細は主婦会館プラ
ザエフホームページ参照）



静岡会場 静岡商工会議所 静岡事務所会館

住 所 〒420-0851

静岡市葵区黒金町20- 8

電 話 054-253-5111

交通アクセス JR静岡駅北口から
徒歩3分。

駐車場 利用不可（駅前・駅地下の
駐車場をご利用ください）。



住 所 吹田市山手町3-3-35

電 話 会場へのお電話はご遠慮ください

交通アクセス 阪急千里山線「関大前」北口より徒歩10分。北口を出て北千里方面に少し歩き踏切のところ（東京三菱UFJ銀行のキャッシュコーナーの角）を右に学生街商店街に沿って坂を5



分上がる。正門を入れて時計台の左手の図書館を過ぎた右手に第2学舎1号館B棟があります。B棟の角を右手に曲がった正面に、第2学舎2号館C棟があります。

※キャンパス内で迷った場合は、図書館前の第2学舎をさがしてください。2号館は別の学舎にもあるようです。

駐車場 駐車不可（障害者の方は申込時に通信教育部にご連絡ください）

2 科目修了試験の受験申込み

今回はじめて受験する方は、『学習の手引き』7章もご一読いただいたうえでお申込みください。

試験実施日	申込締切・レポート締切日	受験許可証到着予定日	結果通知ハガキ発送予定日
10/25(土)・26(日)	10/8(水)必着 (または、10/4 (土)消印有効)	10/15(水) ※10/15までに届かない場合は 10/16午前中までに通信教育部 までご連絡ください。	11/26(水)

※受験科目の追加、会場の変更は10/9(木)午前まで受け付けます。

※会場の都合で受験ができなくなった場合は、何らかの代替の手段で受験ができるように配慮いたします。

3 科目修了試験に関するご案内

- 申込・受験上の留意点 → 『学習の手引き』7章参照
- 教科書持込許可科目 → 人間と宗教、文学入門、歴史を見る眼、福祉社会学、知的障害者福祉論、老年心理学、介護概論、統計情報を見る眼、福祉科の指導法、保健と食と栄養ほか、受験許可証に記載の科目
※「保健と食と栄養」が持込み可になりました。
※「法の基礎」「精神保健福祉援助技術各論」は今年度より持込みが不可になっています。
- 社会教育学科学生への特別在宅試験
→ 『学習の手引き2002-2008◆版』p.40

●卒業試験について → 『学習の手引き』5章参照

※9月の卒業試験は、今年3月に卒業を希望する方が受験できます。今年3月に卒業を希望しない方は受験しないでください。

●ご注意

解答用紙は監督者に必ず手渡しをしてお帰りください。

科目修了試験に関する電子メールでのお問い合わせは、ut@tfu-mail.tfu.ac.jp へお願いいたします。ただし、試験結果の照会には応じられません。

※仙台・盛岡・秋田会場では、本学職員による学習相談（個別相談）を受けることができる予定です。希望する方は、当日スタッフまでお申し出ください。

4 第5回 在宅web科目修了試験 受験申込み

在宅web科目修了試験（第5回）を下記の日時で実施します。

実施	試験実施日時	申込期間 レポート提出締切	受験許可 通知予定日	結果通知ハガキ 発送予定日
第5回	11/9(日)午前または午後 9:30~10:15 13:30~14:15	10/28(火)正午	10/31(金)	12/9(火)

●試験につきましては、下記パソコン操作ができる方を対象とします。

- ・Microsoft Wordの操作ができること。
- ・ワードファイルを添付したメールのやりとりがスムーズにできること。

※本学において、メールの送受信やワードの使用方法など、パソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受付けておりません。

●採点基準

教科書・ノート・参考図書などを見ながらの受験が可能なため、通常の会場科目修了試験よりも厳しく評価しておりますので、予め留意ください。

●申込上の注意事項

【第5回申込み 10/28(火)締切】

午前と午後から第1希望・第2希望と選んでお申込みいただきます。

※『試験・スクーリング 情報ブック2014』では午前のみの実施予定でしたが、午後にも実施いたします（午前か午後、いずれか一方しか受験できません）。

※受験科目・時間変更の申し出は、申込締切日翌日の正午まで受け付けます。

●申込み可能科目

以下の科目（29科目）のうち、いずれか1科目のみ申込みできます。

【共通基礎科目】（3科目）

「ボランティア論[050002]」「生命の科学[050005]」「人間と教育[050017]」

【社会福祉学関連 専門科目（◆旧カリキュラム、★新カリキュラム）】

（12科目）

「★高齢者福祉論[050064]」

「★介護概論[050065]」

「★社会福祉援助技術総論[050070]」

「★福祉経営論[050074]」

「★保健医療サービス論[050075]」

「★医学一般[050079]」

「◆医学一般[050106]」

「◆高齢者福祉論[050117]」

「◆介護概論[050120]」

「◆福祉施設管理論[050125]」

「社会保障論[050107]」

「ケアマネジメント論[050124]」

【福祉心理学関連 専門科目】（6科目）

「心理学概論[050501]」「臨床心理学[050503]」「認知心理学[050510]」

「人格心理学[050511]」「社会心理学[050514]」

「統計情報を見る眼[050146]」

【特別支援学校免許状 関連科目】（6科目）

「知的障害者の心理[050721]」「聴覚障害者の生理・病理[050726]」

「聴覚障害教育[050730]」「発達障害者の心理[050733]」

「発達障害教育総論[050734]」「コミュニケーション障害教育[050736]」

【幼保特例講座科目】（2科目）

「初等教育課程の意義と編成[050807]」「幼児理解と保育相談[050809]」

●受験条件（以下の条件をすべて満たした場合に、受験を許可します。）

- ①申込締切日までに受験希望科目の全単位分のレポートを提出していること。
- ②以下の「試験申込方法」に従い、申込期間内に申込みを行っていること。

●試験申込方法

「TFU オンデマンド」上で、下記の操作を行ってください。

- ①セミナー→「第5回 在宅web科目修了試験申込」

「自動採点形式」右の学習ボタンを押して全ての問題に解答し、「採点」ボタンを押します。

※合格するまで行ってください。

- ②「自動採点形式」に合格後、「試験申込ファイルダウンロード」が使用可能となります。

「試験申込ファイルダウンロード」にて申込用ファイル（Word形式）をダウンロード。

※ファイル名を下記のように設定し、名前をつけて保存。

「学籍番号－氏名 試験申込.doc」

③申込用ファイルの＜申込欄＞に必要事項を入力。

※申込用ファイルに記載の＜試験申込要領＞を必ずご確認ください。

④下記の内容でメールを送付。

【送信先メールアドレス】 uk@tfu-mail.tfu.ac.jp

【件名】 第5回 在宅web科目修了試験申込

【本文】 (1) 第5回 在宅web科目修了試験申込

(2) 学籍番号

(3) 氏名

【添付ファイル】 申込用ファイル

(ファイル名「学籍番号－氏名 試験申込.doc」)

例) 14TW000－福祉太郎 試験申込.doc

●その他

10月の科目修了試験（会場受験）で受験する科目も申込みが可能です。
両方合格した場合は、先に試験結果が出た方の成績が登録されますので、
ご留意ください。

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートよりスクーリングの講義の感想を抜粋いたしました。

●精神医学

- ・これまで頭の中でごちゃごちゃになってしまっていた、たくさんの疾患や障害について整理・分類され、よく理解できるようになりました。また、講義で触れられた精神障害のさまざまなことに対する根本的な問いかけが大変印象に残りました。
- ・先生の「福祉は善か」という言葉に、実際に福祉の現場に勤める自分の日々の対応について「福祉の名のもとに相手に不利益を与えてはいないか」と改めて考えさせられました。
- ・疾病についての授業はもちろんのこと、先生のお話にはいろいろなことを考えさせられました。精神障害のある方への生活支援は患者さん自身に主体があること、その生活のしづさを支援するためのACTの方法は型にはまらず、患者さんのためを考えた内容であることを改めて学び、自分をしっかり持っていないとできない支援であると感じました。
- ・先生のご経験に基づくお話を聞け、大変勉強になりました。先生の告知に対する姿勢や障害受容の考え方に、自分の今までの考え方や捉え方の浅さを反省させられました。

●精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・精神保健福祉援助技術総論

- ・SSTの現場を実際に見る機会が少なかったため、病院・地域・家族などさまざまな現場の様子を見ることができて勉強になりました。
- ・ストレングスモデルやエンパワメントがいかに大切に改めて学びました。SSTやACT、ケアマネジメントなどにも、利用者さんの持つ力を信じたり、引き出したりすることが必ず関わっていることに気づき、そのひとのありのままを見て、可能性を信じる習慣をつけたいと思いました。
- ・地域にあるニーズやSOSを当事者が問題意識を持っていなくともアウトリーチしていかなければならないという先生のお話を聞いて、実際に現場に出ていない私はそこまでできるのかと不安になりましたが、精神障害者の地域移行支援にも大きくつながることだと考えるので、アウトリーチもしっかり学習していきたいと感じました。

●精神保健福祉のサービス・精神保健福祉論Ⅱ

- ・「当事者が主役」ということの意味と、「生活の中で生きるとは」について丁寧に説明いただき、心に染み入る内容でした。また、精神保健福祉のサービスに関する知識以外にも当事者をどのように支援するのかの深い意識や考え方、当事者や社会環境への見方へのヒントを数多くいただきました。